



秩父サイクリングだより

銘仙をPR!

地域おこし協力隊員を
ご紹介します!



市では、総務省の財政支援による「地域おこし協力隊」を受け入れています。

令和元年12月から東京都練馬区に住んでいた岩野倫代さんが活動しています。

岩野さんは、「銘仙が好きで好きでとうとう秩父に来てしまいました。もっと、どっぷりと銘仙と秩父にはまろうと思います。」と抱負を語ってくれました。

熱意をもって、秩父銘仙の技術習得に取り組んでいただけることを期待しています!

商工課 ☎ 25-5208



自転車普及推進員
高山 一成

いよいよ東京2020オリンピック開催の年となりました。埼玉県ではバスケットボールやサッカーなど4種目開催され、他にもトレーニングキャンプ地誘致やPRイベントの開催など、オリンピックが近づくにつれ、機運が高まっています。

市ではコロンビアオリンピック委員会と「BMXレーシング」種目の事前トレーニングキャンプの協定を締結しました。代表選手が最終調整のため、秩父においていただいた際には、交流イベントや公開練習も

検討されていますので、ご期待ください。

なお、4月4日(土)・5日(日)には秩父滝沢サイクルパークにおいてBMXの国際大会が開催されます。オリンピック代表国枠をかけた戦いも最終段階となり、多くの海外選手が秩父に訪れることが予想されます。

次回3月号ではこの国際大会について詳しく触れたと思います。

市民スポーツ課

☎ 25-5230



「子どもたちが走っている姿もカッコいいです!」

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊とは、大都市圏に住んでいた人が地方都市に移住し、地域の活性化を図るとともに、その地での自立定住を目指す取り組みです。

新しい地域おこし協力隊の岩野倫代です

私と銘仙の初めての出会いは、高校生の時に読んだ谷崎潤一郎の「痴人の愛」でした。主役のナオミが着ている着物の模写に「銘仙」と出てきたのです。

銘仙という言葉は初めて見ましたが文章の前後から着物の生地的一种だろうと想像はつきました。当時はよく純文学を読んでいましたので、それからポツポツと銘仙という言葉は出てきたように思います。ただそれ以上調べるようなこともせず銘仙という文字は忘れていました。それから何十年もたつて大人になり、旅先の古道具屋で見たことのないすごくかわいい不思議な柄の生地に見ほれていたら店主がそれは銘仙という織物だと教えてくれました。

「これがあの銘仙か!」と何十年ぶりの再会から銘仙マニアの道をついて走っています。今、秩父へ来て銘仙の職人さんたちからじかに話を聞けることが一番、楽しくて嬉しいです。

岩野 倫代



秩父夜祭絹市のご報告



「秩父夜祭絹市」を12月2日(月)・3日(火)に開催しました。何カ月も前から準備をして、当日、片付けまでとても大変でしたが、「ぜひ来てください!」と自信を持って言えるほど、年々良いイベントになっていると思います。

今回は「秩父銘仙サポーター」というボランティアの皆さんにたくさんお手伝いいただき、インスタ映えスポットを作ったり、銘仙(着物)を着て誘客していただいたりして、絹市がより華やかに、賑やかになりました。個人的には、昨年、皆さんに投票いただいた「新」秩父銘仙デザインコンテストの大賞デザインの銘仙を制作し無事にお披露目できて良かったです。

3月末で、地域おこし協力隊の任期が終了します。3年間の任期中に関わってくださった皆さんに、この場を借りて心より感謝いたします。おかげさまで、充実した秩父生活を送ることができました。これからは、陰ながら秩父のことを応援したいと思います。

走出 雪



商工課

☎ 25-5208

地域おこし協力隊
岩野倫代・走出雪



協力隊フェイスブック



絹市フェイスブック